



目次

- (1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ
 - 第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日) 締切は11月9日まで
交通バリアフリー推進の集い冊子配布について
- (2) ネットワーク参加団体からのお知らせ
 - 東洋大学ユニバーサルデザイン公開研究会 2005
 - 福祉のまちづくり シンポジウム in Oita 2005
 - 交通まちづくり学研究会 第4回研究会のご案内
- (3) エコモからのお知らせ
 - アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム 2005
 - 「参加型福祉の交通まちづくり」が、第3回三井住友海上福祉財団賞を授賞しました
 - 旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました
 - 「参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ」～発刊しました
 - バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開
 - らくらくおでかけネット
 - 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- (4) 行政からのお知らせ
 - 障害者週間の集い(内閣府)
 - ～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～(国土交通省)
 - 交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(国土交通省)
- (5) 各種催し物のお知らせ
 - Mediphar Taipei 2005(台湾)
 - International Exhibition of Technical Aids and New Technology for Disabled People(ポルトガル)
 - 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005
 - P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展
 - World Congress and Exposition on Disabilities(アメリカ)
 - 2005 光州国際シルバー博覧会(韓国)
 - 高齢、障害と自立に関する国際会議(アメリカ)
 - 第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto
 - バリアフリー2006
 - 第9回 国際福祉健康産業展～ウェルフェア2006～
- (6) その他
 - 書籍に関して
 - 記事募集中
 - お願い(必ずお読みください。)
 - ・転送先について ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

第4回交通バリアフリー推進の集い 開催します(11月14日) 締切は11月9日まで

第4回交通バリアフリー推進の集いを、11月14日(月)に開催することとなりました。参加ご希望の方は、ホームページから直接お申し込み頂くか、FAXに必要事項をご記入の上、お送りください。(ご所属、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、FAX番号、E-mail、ご希望される連絡方法) 締切は、11月9日です。

http://www.ecomo.or.jp/itami_sengen/tudo4/tudo4.htm

FAX: 03-3221-6674

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(平成15年度、平成16年度)をご希望の方は、ご連絡ください。 FAX: 03-3221-6674 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

東洋大学エバ-デザイン公開研究会 2005「企業と行政の最先端のエバ-デザイン」

第1回 ~今エバ-デザインの展開に求められている課題とは何か~

主催: 東洋大学エバ-デザインプロジェクト

後援: 日本福祉のまちづくり学会、国際エバ-デザイン協議会、(財)国土技術研究センター、交通エバ-デザイン財団

第1回: 11月4日(金)13:30-16:30 会場: 東洋大学朝霞キャンパス(池袋から急行15分徒歩10分)

MAP: <http://www.toyo.ac.jp/life-d/access.html>

講師・パネリスト 細山雅一氏: 松下電器(株)エバ-デザイン社渉外・UD担当参事

後藤義明氏: 積水ハウス(株)エバ-デザイン生活研究所部長

杉浦義夫氏: 静岡県生活・文化エバ-デザイン室長

島田邦満氏: 熊本県総合政策局政策調整課特定政策推進室課長補佐

コーディネーター: 高橋儀平(東洋大学)

定員: 150名(定員になり次第締め切り)

費用: 無料

懇親会: 終了後、キャンパス内で懇親会(2,000円予定)を予定。

手話通訳、パソコン要約筆記がります。

第2回以降の日程、お申込者に順次詳細をご案内いたします。

第2回: 11月25日(金)、第3回: 12月09日(金)、第4回: 01月20日(金)

時間帯同じですが、開催日、会場等の変更もありますのでご承知おきください。

参加申し込み: 東洋大学工学部建築学科高橋研究室宛

e-mail または FAX にて: e-mail: toyo-ud@b-star.ne.jp FAX049-231-1400

参加者全員のお名前、所属、連絡先(e-mail等)、懇親会参加の有無等をお書きの上お申し込みください。

福祉のまちづくり シンポジウム in Oita 2005

日時 11月12日(土)9:00~16:40

場所 大分県社会福祉介護研修センター (<http://www.okk.or.jp/access.html>)

午前の部1: 第5回 日本福祉のまちづくり学会九州支部 大分大会

9:00-10:15 研究発表会 <5題>

午前の部2: ユニバーサルデザイン基礎講座

10:30-12:00 講演 「すべての人が響き合う社会へ」井上滋樹氏(博報堂)

12:00- 研究発表1題のあと、日本福祉のまちづくり学会九州支部総会

午後の部: 第9回大分大学福祉フォーラム テーマ「共生社会の実現に向けて！」

13:15-14:15 基調講演「安心して暮らせるまち: エバ-デザインがめざすもの」

14:30 - 16:30 パネルディスカッション <120分> 「おおいた・共生都市への視座」

パネリスト：

<ものづくり> 光野有次氏（無限工房/ファンテラジャパン）

<まちづくり> 日比野正己氏（長崎純心大教授）

<ひとづくり> 井上滋樹氏（博報堂）

<指定討論者> 永松悟氏（大分県福祉保健部参事） 村上和子氏（シフオニ-理事長）

コーディネータ：鈴木義弘（大分大学 助教授）

（連絡先）九州支部事務局 岩浦厚信 宮崎市役所建築指導課

TEL0985-21-1813 e-mail:maifam@miyazaki-catv.ne.jp

交通まちづくり学研究会 第4回研究会のご案内

日時：2005年11月25日（金） 午後6時半～8時半

会場：ドーンセンター（大阪府立女性総合センター）5階大会議室

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 電話：06-6910-8500

第部講演：

自然災害対応について-大規模地震を中心に（仮称）群馬大学工学部建設工学科教授片田敏孝氏

第部 株式会社キクテック中部事業所見学会の報告

参加費：会員無料、非会員1000円（資料代）

懇親会 研究会終了後、近くの居酒屋で懇親会を予定しています（会費は3000円程度）

参加申し込み・お問い合わせ（できましたらメールでお願いします）

交通まちづくり学研究会事務局 馬場明男（ビーズ地域プランニング研究所&株式会社かんこう）

TEL/FAX:072-855-1642 E-mail:baba-f@crocus.ocn.ne.jp

（3）エコモからのお知らせ

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会の進展が大きな社会課題となってきました。これまでは、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことにより、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき高齢社会では「誰にでも利用可能とすること：アクセシビリティ」が時代を支える新しいキーワードとなります。障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの人々が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウムを開催します。

ここでは、高齢社会に向けた、新しい社会のルール作りを目指した熱心な議論が展開されるものと確信いたしております。みなさまの多数のご参加をお待ちいたしております。

尚、本シンポジウムは「障害者週間」の関連事業です。

日時：12月5日（月）13:30～17:00

場所：経団連ホール（社団法人日本経済団体連合会14階）地下鉄大手町駅A1またはC1（徒歩5分）

〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4（経団連会館）

定員：460名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費：無料

<プログラム>

13:30～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

13:45～ セッション1 自治体としてのEPA-サレデザイン実践（仮題） 熊本県知事潮谷義子氏

14:30～ セッション2 公共サービス 内閣府障害者政策担当参事官 長門利明氏

<障害のある方に対する心の身だしなみ～公共サービス窓口における配慮マニュアル>（仮題）

15:00～ 休憩

15:15～ セッション3 障害者・高齢政策 厚生労働省社会援護局障害保険福祉部社会参加推進室室長
<障害者・高齢者の社会参加に関して> (仮題)

15:45～ セッション4 交通 国土交通省総合政策局交通消費者行政課交通バリアフリー対策室長 小澤一男氏
<交通バリアフリー法の見直しと今後の展望> (仮題)

16:15～ セッション5 製品情報 経済産業省環境生活標準化推進室室長 横田 真氏
<障害者・高齢者製品・サービスの政策・標準化 他> (仮題)

16:45～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 真氏
お申込み先及びお問合せ先

ADF シンポジウム 事務局 (財団法人日本規格協会 標準部国際課 担当 小峰・三分一)

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-22 虎屋ビル7階 TEL : (03)5770-1596 FAX : (03)5770-1592

<申込方法> 郵送及びFAX、e-mail でお願います。

*当日は、事前に申込まれた方から優先的に入場できます。*要約筆記がございます。

氏名、連絡先、TEL、FAX、E Mail をご記入ください。

「参加型福祉の交通まちづくり」が、第3回三井住友海上福祉財団賞を授賞しました

今年2月に発行されました「参加型福祉の交通まちづくり(学芸出版社)」が、この度、三井住友海上福祉財団より、第3回三井住友海上福祉財団賞を頂くことになりました。この賞は、交通安全等並びに高齢者福祉に関する著作・論文に対して、年に1回選定されるものです。これを励みに今後も活動を続けていきたいと思えます。

「参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～」が発刊しました
市民参加をどの様にすすめればよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買い求めについては、一般書店で取り扱っております。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

旅客船ハンドブック「旅客船バリアフリー基準の解説」を発行しました

国土交通省は、国内旅客船のバリアフリー化の指針として、「旅客船バリアフリー設計マニュアル」を策定しているが、旅客船事業者及び造船事業者はこれまで旅客船のバリアフリー化に対する整備の経験も浅く、高齢者や障害者の移動をどのように理解し、整備するのが望ましいのか、その判断に苦慮している意見も多く寄せられていたことから、関係者にヒヤリング等を行い、具体的に分かりやすく説明したハンドブックを作成しました。(1,500円 A4 115頁)

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅3,944駅、空港83、バス180、旅客船456ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらは、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

障害者週間の集い(内閣府)

障害者週間(12月3日～9日)を意義あるものとするため、障害者週間の集いを開催いたします。

日時 12月6日(火)13:00～

場所 有楽町朝日ホール 有楽町マリオン 12階
千代田区有楽町2-5-1

プログラム

第1部 表彰式「心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター」 内閣官房長官

第2部 シンポジウム「共に働き、共に生きる社会をめざして」

竹中ナミ氏(社会福祉法人「ポップ・ステーション」理事長)

パネルディスカッション

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～

都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(平成17年9月30日まで)

基本構想を作成済みの市区町村 191市町村(217基本構想)

詳細はこちらまで

<http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/basicplan/jyurijyoukyou1709.pdf>

(5) 各種催し物のお知らせ

Mediphar Taipei 2005 <http://www.taipeitradeshows.com.tw/mediphar/>

日時:11月10日(木)～13日(土) / 場所:台北(TWTC Exhibition Hall)

International Exhibition of Technical Aids and New Technology for Disabled People

日時:11月10日～13日 / 場所:ポルトガル(EXPONOR) <http://www.normedica.exponor.pt>

第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピックふくおか2005

<http://www.city.kitakyushu.jp/~nenrinpic/Pages/hw.html>

日時:11月12日(土)～15日(火) / 場所:西日本総合展示場

P.P.C. 2005 第7回西日本国際福祉機器展 <http://www.nishiten.or.jp/fukushi/>

日時:11月13日～15日 / 場所:西日本総合展示場・本館

2005光州国際シルバー博覧会 <http://www.seniorfair.or.kr/>

日時:11月18日～21日 / 場所:金大中コンベンションセンター

World Congress and Exposition on Disabilities <http://www.wcdexpo.com/>

日時：12月1日～3日 / 場所：Pennsylvania Convention Center
高齢、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.php.ufl.edu/>
日時：2006年2月1日～4日 / 場所：フロリダ大学
第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto
日時：2006年2月10日～12日 / 場所：グランメッセ熊本
バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>
日時：2006年4月20日～22日 / 場所：インテックス大阪
第9回 国際福祉健康産業展～ウェルフェア2006～
日時：2006年5月19日～21日 / 場所：ポートメッセなごや

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ。 http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コ ラ ム

めっきり寒くなりましたね。

この寒さで関東地域の紅葉やナナカマドが一斉に赤く染まっていることでしょう。

京都あたりも今月下旬あたり賑わうことでしょうね。京都のバリアフリーはどうでしょうかね、京都の地下鉄は大丈夫だと思いますが、神社・仏閣が心配です。

昔から神社などには信仰者のために男坂、女坂があって、厳しいところと緩やかなところがありましたが、その思想は今のバリアフリーと違うと思いますが、誰でもが拝観や観光ができればいいですね。

最近、インフルエンザが横行しています。少し熱が出たら、早めに寝るのが一番ですね、その時は水道水のうがいを忘れずに!